

2014.8.29
発行

No.
33

えひめの保育



発行者/愛媛県保育協議会
会長/伊東 道子
編集責任者/大野 京子

発行所/愛媛県保育協議会
松山市持田町三丁目8番15号
愛媛県社会福祉協議会内

さくらんぼの収穫

伊予市 くんちゅう保育所



あと、
もう少し!

こどものつぶやき

エンドウの収穫

子どもA「この豆、あたたかいよ…」
子どもB「ほんとだ！
お日様のおいがする」
目を丸くして共感し合う5歳児でした。



玉ねぎの収穫

喜多郡 こぼと保育園



おいしいカレー
をつくらう!!

こどものつぶやき

オクラの収穫

保育者「これ、な～んだ？」
子ども「ピーマン！」
保育者「違うよ『お』がつくもの。」
子ども「お？おピーマン！」自信たっぷり…!



保育の味

愛媛県保育協議会会長

伊東 道子



子ども・子育て支援新制度については、
公定価格の仮単価や幼保連携型認定子ども園教
育・保育要領が示されました。

県保育協議会では、8月の保育事業研修大
会や1月の所長研修会において、新制度につ
いての理解を深めていきたいと思っています。

ところで、制度が変わること何やら落ち着かず、来年4月からの
本格実施にどう臨むか、頭を悩まされている方も多いのではないでしょ
うか。かくいう私もそのひとりです。

そのような時に、倉橋惣三の言葉に出会いました。

保育の原理と方法は研究者が考える。

ただ、保育の味だけは、幼児保育の日々の実践家のほかには
分からない。

保育の実際はむずかしくもあり、骨もおれる。決してらくな
仕事でもなく、ある意味においては苦勞の連続である。

しかし、その苦勞の間に、しみじみとした味わいがある。
なるほど、なるほど、そうですよね。と膝を叩いてしまいました。

子どもたちは、毎年毎年、常にフレッシュな存在です。保護者の方々
も同じです。子育てをめぐる時代感覚も新しくなっています。とす
ると、私たちには、フレッシュなセンスを感じる、さびついている
アンテナが必要だということになります。そうであれば、せっか
くの「保育の味」も、味わうことができなくなってしまうかも…とい
うわけですかい。

新制度を理解して取り組むことあわせて、日々の保育を味わうセ
ンスとアンテナを磨いていきましょう。それが私たちの役割です。

そこには、

野生でない自然がある。

温室でない培養がある。

放任でない自由がある。

抑圧でない管理があり、

強要でない期待がある。

施設形態が変わることも、倉橋惣三がイメージした、自然の中で子
どもたちがのびやかに過ごす園をめざしていきたいものですね。

参考文献/荒井冽「倉橋惣三 保育へのロマン」

愛媛県保育士関係者 交流セミナー

平成26年6月20日
ひめぎんホール「真珠の間」

今後の保育士人材確保の充実や、保育の質の向上を図ることを目的として、愛媛県からの委託を受けて標記セミナーを行いました。このセミナーでは、保育所への就職や転職を希望する方を対象とした就職説明会として開催し、就職希望者が現場の求人状況等を直接聞くことのできる機会を提供したり、相談コーナーの設置や保育士として仕事に役立つセミナーを行いました。

当日は、保育を学ぶ学生や一般の方も参加して、セミナーを熱心に聞いたり、各ブースでの就職情報をメモする姿が見られました。仕事に役立つセミナーでは、現場で働く新人保育士や先輩保育士から、就職してからの生の声を聞いたり、質問をしたりと充実した時間が取れました。

休憩コーナーも設けられて、保育所で作った飲料やクッキーなどが提供され、保育所での教育にも触れることができ、参加者からも好評でした。

保育所における保育士不足解消への取り組みが緊急の課題となっております。人材確保の早急な対策・対応により、保育現場で奮闘する保育士の処遇を改善し、子どもにも保育士にもゆとりある保育が必要であることは、保育に携わるすべての者が念願するところです。

これらの問題解決に、保育協議会も大きな役割を担っていただけるように思っています。

次年度も同セミナーを開催したいと思っております。ぜひ、皆様からのブース等のご協力をお願いいたします。

みんなで盛り上げていきましょう！



「ブース出展者からの感想」

◎今回ブースを出展し、学生に保育所のことを知ってもらったいい機会になった。ブースについて事前に詳細や人数が分かっていたら、もう少し工夫して準備や参加ができたと思う。

◎もっと学生が来られる日程にしたらいい。いい機会なので、もったいないと思った。

「学生・一般参加者からの感想」

◎ハローワークの方とも話せてよかった。展示で雰囲気を感じられ、休憩スペースもありよかった。

◎現場の保育士の経験や話を実際に聞けてよかった。ブースの先生も丁寧に説明してくれた。

初級保育士研修会

大洲市立徳森保育所 菊池 奈月

○講義Ⅰ 「出会いを大切に」

元小松東保育所所長／つどいの広場くーちよき・ばー代表 越智 ミドリ氏
 保育士としての心構え、所長としての経験を踏まえたエピソードを語り、一人生の中で意味のない出会いはありません。苦手だと感じる人こそ自分を成長させてくれる人です」と、新人保育士にエールを送ってくださいました。

○実技 ミュージック・ケア「乳幼児の発達支援とミュージック・ケア」

愛媛ミュージック・ケア研究会／日本ミュージック・ケア協会 樋口 裕子氏
 上級認定音楽療法士
 先生のはつらつとした動きに、最初硬かった参加者の体や表情が次第にほぐれ、楽しみながら学ぶことができました。

○講義Ⅱ 「うちを育む喜び」

元公立学校 養護教諭 毛利 弘子氏
 子どもたちに育てたい二つの「生きる力」について具体的な事例を通して伝えていただきました。

○講義Ⅲ 「社会人としてマナー 保育士として働くために」

能力開発システム研究所 人材育成推進室室長 曾我部 礼子氏
 研修事業部リーダー 川口 悦子氏
 ペアやグループでロールプレイングをするなど、実践を交えてコミュニケーションのスキルを高める方法を体験しました。

感想（アンケート）

- ・二日間の研修はとても内容の濃いものでした。保育士を目指してともに学んだ短期大学の友人にも再会し、それぞれが地元で頑張る姿に励まされました。
- ・保育士として経験を重ねていく中で、研修で学んだことを理解し、私らしく焦ることなく成長していきたいと思えます。
- ・早く子どもたちに会いたいです。こんな保育士になりたいという思いが強くなりました。
- ・めんどくさいと思って参加したが、楽しく参加でき、とても勉強になりました。
- ・初級だけでなく、二十代以上の保育士にも参加してほしい内容でした。
- ・早く着いた時に、準備等があれば協力して手伝います。



(由 気持持ち) あつが(り)ん(が)ら(ま)す(あ) 担当 第一回

私たちの取り組み

子育て支援専門研修会

大洲市立喜多保育所 城ノ戸 陽子

○講義Ⅰ 「子育ての悩み解決 ～悩みをみんなで共有しよう～」

えひめこどもの城子育て相談委員 臨床心理士 小西 佳子氏
 乳幼児期に母親との信頼関係が結ばれることで、アタッチメント(母と子の絆)が形成され、子どもの心の発達に大きく影響します。

子どもที่หลากหลายな癖の要因と対処法、虐待の事例、発達障がいの特徴と今後の支援の難しさを聞き、子育ての悩みの共有につながりました。

○パネル・グループ討議「子育て家庭への支援について」

保育者同士の横のつながりを広げるグループづくりを行い、支援の現状や悩みについて話し合いました。

○講義Ⅱ 「絵本の持つ力 ～なぜ読み聞かせが子どもによいのか～」

鳴門教育大学教授 余郷 祐次氏
 絵本には、お母さんにしてもらった全てのことや、愛されている記憶が詰まっており、読み聞かせからその記憶を呼び起こすことができるのです。保育者は、絵本の持つ力を自信と確信を持って伝えてほしいと、思いをあふれるように話していただきました。

○講義Ⅲ 「学力・体力の低下、心の問題に歯止めをかける生活のリズムづくり～乳幼児期からの食・睡眠・運動の重要性について～」

早稲田大学教授 医学博士 前橋 明氏
 子どもの生活リズムに必要なことは、①食を大切にすること②運動すること③睡眠をとることです。様々なデータを基に子どもの現状とその原因を解説されました。ケースに応じた保護者への提案方法があり、保護者への理論武装の必要性もあります。

感想（アンケート）

- ・すべてに保育の中で生かせる内容が盛りだくさんで、とても充実していました。
- ・子どもたちを取り巻く環境も様々で、保護者への対応に専門的知識を広げた支援が必要になっていきます。今回学んだことを生かし、保育士としての意識を高め、取り組んでいきたいと思えます。
- ・子育てのいろいろな悩みを持つ母親の現状を改めて把握することができ、支援する困難さを痛感した。
- ・絵本に隠されていた「母親」「仕掛け」に感動した。普段は読む側なので、見る側にもなれてよかった。
- ・スマホやタブレットで撮影する人がいて気が散り、集中できない。事前に禁止や説明などしてほしい。



防災について

=その時、子どもたちを守るために=



西条市は、平成 24 年度に新しく防災情報伝達システムを計画し、平成 25 年度には保育所等市内約 250 箇所へ海拔表示板（この地盤は海拔 1.4 m ですよという表示）を設置し、平成 26 年度中に保育所などの公共施設 198 箇所に無線による個別受信機を設置する予定です。しかし、平成 25 年 12 月の愛媛県の南海トラフ巨大地震の地震被害想定では、最悪の場合、津波が来る前に地震及び液状化により堤防が破壊され、市街地のほとんどが浸水し建物倒壊の被害にあうことが想定されます。耐震化や早期避難等対策を講じることによって被害の拡大を少しでも抑えることができるよう、各々が対応できることを見極め備えておくことが重要です。災害時には自分達で自らを守る自助が 8 割、ご近所との協力で守る共助が 1 割、行政に守ってもらえる公助が 1 割と言われています。

保育所でも職員の防災教育や防災訓練の実施により、連絡体制、情報の収集、避難方法の再検討や備品設備の点検等、平常時の対策が重要になります。

突然の災害に見舞われると、
 普段やっていることしかできない
 普段やっていることも満足にできない
 普段やっていないことは絶対にできない

訓練で疑似体験をすることにより、生き残る可能性が高まります。

- 建物の耐震性の確保
- 家具等の転倒防止や窓ガラス等の落下防止
- 避難の迅速化（避難経路、避難場所、連絡方法の再確認）
- 水、食料、医薬品、携帯ラジオなどの非常持ち出し品の準備
- 防災訓練や説明会への積極的な参加等

いざというときは訓練以上のことはできないことを肝に命じ平時の対策を行うことが必要です。

～西条市の防災対策からの報告～

防災
DVD
の紹介

南海トラフ巨大地震 ～地震から命を守る～

- 新しく、愛媛県が作製したDVDです。各地域の津波の予想シミュレーションや「非常持ち出し袋」等も出てきます。
- 保護者の研修でも好評でした。職員研修にもいかがでしょう。

えひめ防災マスコットキャラクター
こまっち





今イチ押しの本!!

最近、「頑張りすぎちゃった…」そんな忙しいあなた！ホッと一息ついてみませんか。

子どもは子どもを生きています



【写真・言葉】
小西 貴士
【発行】
フレーベル館

子どもが守られ、愛すべき存在であることを強く感じると同時に、私たち大人も同様に守られ愛されるべき存在だと、気付かされる1冊です。わが子を、園の子どもをそして幼いころの自分を…ギュッとハグしたくなる優しい思いが溢れます。
先生や大人にぜひ読んでいただきたい本です。

かあさんのこもりうた



こんのひとみ 作
いもとようこ 絵
【発行】
金の星社

天国のお母さんから届いた1通の手紙から、この絵本は生まれました。
東日本大震災でお母さんを亡くした望美ちゃんのもとに1通の手紙が届きました。消印は2年前。差出人はなくなったお母さんでした。お母さんから届いた永遠の家族への思い。あながきから、まず読みたい本です！

りんごがひとつ



【作・絵】
ふくだ すぐる
【発行】
岩崎書店

おなかをすかせた動物たちの前に
りんごがひとつ
それを追いかける動物たちのお話です。
母親の愛情と仲間の優しさ、またストーリーにユーモアのある楽しいお話です。

ねこのはなびや



【作・絵】
渡辺 有一
【発行】
フレーベル館

3組のネコのグループが競い合って打ち上げる花火大会。仕掛けのページがあり、大きな花火の景色が迫力満点。
子どものハートをわしづかみにすることができる夏にピッタリの絵本です。



ホームページのご紹介



<http://ehime-hoiku.jp/>

会員専用のページがあります。役に立つ情報が見られます。ぜひ会員登録を!!



会員ページから、以下のような情報が得られます。

- ①各支部の「子ども子育て会議の進捗情報」が見られます。
 - ②森本先生を始め愛媛県発達障害者連絡協議会のメンバーの意見がまとめられた発達障害者支援ハンドブックを見ることができます。
 - ③その他、児童票・協議会での講師一覧表・助成金について…
- ※ホームページをご活用ください。

各支部の取り組みはここから！今回は、「喜多郡支部」のHPです。どうぞご覧ください。



喜多郡
五城保育園

各市町の子ども・子育て会議

- 6月末での進捗状況や取り組みについて事務局で取りまとめています。会員専用ページでご覧いただけます。
- 「子ども・子育て支援新制度」の施行日も時時刻刻と近づいてきており、どのような事業類型を選択していくのか大きな岐路に立っています。
- それぞれの市町が、新制度に向けてどのような選択をしていくのか、みんなで確認していきましょう。